

BUSINESS

実践する上司学。
よきリーダーに、よき上司になるために。

リーダーになる！



嶋津良智 ■ リーダースアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

第14回 人材こそが最も重要な資産

先日あるベンチャーキャピタルの方と、「何を見て『お金を出す』と決めるか」という話をされていて、「やはり『そうか』とあらためて感じたことがありました。」

ベンチャーキャピタル会社の方は何を見て「お金を出そう」と決めるのか？

1. 経営者の人柄
2. 経営能力
3. ビジネスモデル

という順番で見えていくそうです。なぜ一番が「経営者の人柄」なのかというところ、人は一人で生きているわけではないように、企業も1社で成り立っているわけではありませぬ。いろいろな

たちに支えられて成り立っているのが企業です。よって、人柄が優れていることにより人を集める能力（応援される能力）があり、いろいろな人々から協力が得られやすいと判断するようです。逆に人柄が良くないということは、人の助けが得られないので会社がうまくいかない可能性が高いという判断をするそうです。昨今の企業不祥事もそうですが、全てはその会社の経営者の考え方が反映

されたものです。京セラの創業者で現在日本航空の再建に当たられている稲盛和夫さんが「会社は、経営者の器以上でも以下でもありません。経営者の器そのものだ」とおっしゃっていますが、まさしくその通りだと思えます。

リーダーになるツール
役立つ書籍や道具などを紹介



「ビジョナリーカンパニー 時代を超える生存の原則」

アメリカの主要企業18社の歴史を6年間にわたり徹底的に調査、分析したレポート。従業員が企業内に活力を生み出し、時代を超える「基本理念」を解き明かす。(2039円/日系BP社/ジェームス・C・コリンズ著)

人の力が船(会社)を右にも左にも動かすことに影響を与えます。そう考えると「会社が小さければ小さいほど人間性は重要であり、能力の前に人間性を重視する」という考えは正しいと思えます。

大好きな『ビジョナリーカンパニー』時代を超える生存の原則(日系BP社/ジェームス・C・コリンズ著)という名著にこんな重要な資産なのだ。皆さんはこの文章を読んでどう思われましたか？(記事協力:Area X)

文言があります。「偉大な企業への飛躍を指導したリーダーは、まず始めに新しいビジョンと戦略を設定したのだらう」とわれわれは予想していた。事実はそのようではなかった。最初に適切な人をバスに乗せ、不適切な人をバスから降ろし、適切な人がそれぞれにふさわしい席に座つてから、どこに向かうべきかを決めている。「人材こそが最も重要な資産だ」という格言は間違っていた。人材が最も重要な資産なのではない。適切な人材こそが最も重要な資産なのだ。